

2020年度「栄養経営士」基礎講習 会場分終了 講習修了者の全累計は1,837人に!

東京会場は会場とWEBでハイブリッド開催 今後はオンラインによる開催も視野に

2020年度「栄養経営士」資格認定基礎講習(以下、基礎講習)は、4月5日に金沢会場からスタートする予定だったが、新型コロナウイルスの影響で開催を断念。その後、札幌、福岡、名古屋、大阪、仙台と予定されていた会場もすべて中止となり、最後に予定していた東京会場ではWEB参加も可能とし、合わせて38人が受講。2015年のスタートから6年間で会場受講修了者の累計は1391人となった。

会場・WEBともに 熱意高まる基礎講習に

今年は新型コロナウイルスの影響で各会場での開催が困難となり、最後に予定されていた東京会場のみ現地開催となった。また、会場開催できなかった地域の参加者や、勤務先からセミナー・研修などの集会や県をまたぐ移動の禁止を要請されている人も多いことから、急遽Zoomを使った配信を実施。東京会場では現地参加6人、WEB参加32人の合計38人が受講した。宮澤靖代表理事が行う講義では、最初「栄養経営士」についての説明を行い、栄養部門の現状分析、栄養部門の質を高めるためにアウトカムをどう出していくか、組織のマネジメント、病態把握能力と臨床栄養教育について約6時間かけて説明。宮澤代表理事が



高知県の近森病院に勤務していたときに行った栄養部門の改革をベースに、現在の勤務先である東京医科大学病院における業務改善や、宮澤代表理事が病棟担当になっていてという新型コロナウイルス感染症に関する話も交えつつ、「栄養経営士」に必要な能力や心構えについて紹介し、時に檄を飛ばしながら参加者を鼓舞する、熱い講義が行われた。はじめて行われたZoomでの講義配信も問題なく終了し、会場同様にWEB参加者からも「いかに固定観念に縛られていたかに気づいた」「現在の栄養科の問題をしっかりと掘り下げて考えるよいきっかけになった」といった、自分たちの課題に前向きに取り組むという決意するレポートが提出された。この成功を受け、協会では今後の基礎講習のオンライン開催について、前向きに検討する予定である。

DVDの基礎講習修了者は累計446人に

協会ではDVDによる基礎講習も行っており、今年の申込者は94人、修了者が63人となっている(10月7日現在)。2016年から累計では申込者が668人、修了者が446人となった。

この基礎講習は「栄養経営士」の資格認定試験を受験するための必須要件であり、会場・DVDともに、受験資格は基礎講習修了から3年以内となっている。もし、まだ受験

資格があるにも関わらず「栄養経営士」資格試験を受験していない修了者がいるなら、ぜひ資格取得にチャレンジしてほしい。これからのポストコロナ・ウィズコロナの時代には、感染症対策として栄養の力が必須となる。そこで求められるのが専門職としての管理栄養士の知識であり、部門や地域をまとめ、牽引する「栄養経営士」のマネジメント能力である。

協会では一人でも多くの「栄養経営士」が誕生し、地域や社会で頼れる栄養士として活躍してくれることを期待している。

「栄養経営士」 資格認定試験

第11回試験

11月15日(日)

※受験エントリー受付終了
※以降の試験については詳細が決まり次第協会のホームページで告知します。



資格認定試験の受験前に、「栄養経営」という考え方を理解するために受講いただく講習です。本講習の受講が、栄養経営士資格認定試験の受験要件となります。

DVD視聴による受講が可能!

☆3枚組、特典映像付き☆

栄養経営士も会員価格で聴講できます!

(こんな方におすすめ)

- ・会場で受講したが、内容を復習したい
- ・栄養経営士の方向性を、改めて確認したい
- ・栄養経営士として、もう一度、話を聞きたい ……

本編(収録時間/DISC 1: 90分、DISC 2: 73分)

1. 院内・施設内における栄養部門の現状分析
2. 目標設定能力と達成に向けた実践的アプローチ
3. 業務の質を高めるためのアウトカム分析
4. 「栄養経営士」に求められる教育と人事能力
5. 適材適所の組織マネジメント
6. 病態の把握能力

特典映像(収録時間/DISC 3: 約30分)

観てわかる! 近森病院に学ぶ実践マネジメントのすべて

■講師: 宮澤 靖 代表理事ほか

■受講料: 8,500円(税込) 会員価格: 3,850円

先が見えない時代だからこそ 未来を担う次世代の育成に注力を

夏以降、落ち着きを見せていた新型コロナウイルスの感染拡大ですが、予想通り徐々に増加傾向を見せはじめました。ヨーロッパ等では第1波を超える勢いとなっています。先行きがなかなか見通せないときだからこそ、栄養経営士にできる重要な役割があるはず。今月は東海支部の兼平奈奈支部長からメッセージをいただきました。

栄養経営士が持つマネジメント力が 若い世代の教育のニュースタンダードに



日本栄養経営実践協会東海支部支部長
東海学園大学健康栄養学部管理栄養学科准教授
兼平奈奈

新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、教育現場においては授業開始が遅れたり、面接授業ができず、オンラインによる遠隔授業となったりと、教育方法の修正が余儀なくされました。特にオンラインによる遠隔授業では学生の情報機器やネットワーク環境の問題だけではなく、人と人の新たな繋がりへの期待やそこから得る人としての熟成をいかにサポートするのかにも当初、心が痛みました。そのようななか、スマホをはじめとする情報機器を使いこなし、柔軟に変化する環境に対応しながら学生たちの繋がりを持つ学生たちの姿にたくましさを感じました。

5月14日以降全都道府県に対する緊急事態宣言が順次解除され、密を避けるため実験・実習科目では通常1教室で実施するところを2教室に分散したり、学年で登校可能な曜日を設定したりするなど対策をしながら、面接授業がほんの一部で開始となりました。久々に会うクラスの友人やゼミ仲間、初めて言葉を交わす者どうしであつても、いきいきとした笑顔や声のトーンの明るさが引き立ち、たのが印象的でした。ビフォー・コロナ時代では当然であった直接的な人と人の接点は、リ

アルだけでは得ることができない人間にとつて本当に大切なものと学生も気づかされていきました。

延期となっていた臨地実習も再開されつつあります。ご施設の管理栄養士の皆様から、安全対策を講じながら現場実習で習得すべき内容を「こういう形であればできるかも」「こういうやり方にしてみましょう」とさまざまなアイデアのご提案と、今までにはなかった形の実習実施に向けて施設内での調整をしていただき、感謝と敬意の気持ちでいっぱいです。また、実習後の学生からは「適切な対策に関して多職種の方々と調整し見直しを行っていた」「対策を実施しても感染を100%防衛できると保証されるのではない」と意識した業務が大切だと教えていただいた「情報通信

機器を用いた栄養指導計画を学んだ」などコロナ禍での現場実習において管理栄養士の日々のご健闘の姿から多くを吸収していただきました。正面から向き合っで教えてくれる、物事に対して真剣に向き合っている姿をみて、若い学生たちも「自分はどうするのか」「自分は何ができるのか」を学修し、管理栄養士の卵としての自立心を得たようです。

NME REPORT 栄養経営士 活動報告

栄養経営士・齊藤大蔵氏の研究会“Nutrition Laboratory”絶賛活動中! 自分自身で学びの場をつくっていくことも 栄養経営士としての重要な役割のひとつ



2019年12月、「栄養士による栄養士のための実験場」として開設されたNutrition Laboratory(以下NLab、<https://www.nutritionlaboratory.net/>)。栄養関連のツールや情報発信のプラットフォームとしてスタートし、現在ではオンラインセミナーの開催や動画の配信まで幅広い活動を行っています。NLabの開設者である栄養経営士の齊藤大蔵さん(社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス海老名総合病院医療技術部栄養科主任)と、同メンバーで同科の大田圭太さんにお話を伺いました。

はじめは統計に関するツールの共有から

2018年9月に日本栄養経営実践協会関東支部で統計学をテーマにした研究会で講師を務めたとき、後で「資料が欲しい」という声を多くいただきました。ほかのセミナーや勉強会でも、統計で使用するExcelのフォーマットなど、実際に使用できるツールへのニーズが多かったこともあり、それらのデータを置いておける場所として昨年の12月にホームページを開設したのがNLabのはじまりです。

その後、当院栄養科内の勉強会用に動画をアップして、時間のあるときに職員が見られるようにしました。これはクロージドなものですが、映像を作成してサイトにアップし共有する、という体制ができて、今後はコンテンツの充実をという頃に新型コロナウイルスの感染が広がりました。

さまざまな勉強会が中止になり当院でも学ぶ場所の確保が問題となるなかで、すでに映像を通じて

学ぶ環境はつくっていましたが、その延長でZoomの勉強も兼ねてオンラインで勉強会をやってみようか、という話が出てきました。どうせやるなら関心のある方々にも呼びかけてみよう、と案内してみたら何人かが集まってくれて、オンラインでの勉強会がスタートしました。現在では毎週土曜の20時から、Zoomでの勉強会を開催していて、多いときは50名を超える方に参加していただいています。

学びにはアウトプットできる環境が不可欠

これまでのセミナーはYouTubeにアップしており、いつでも動画で見られるようになっています。「アーカイブをきちんと残していく」というのは実際の集合研修の形ではなかなか難しいので、それが可能になったのはオンラインのメリットだと思います。アーカイブがあれば初めて参加する方でもこれまでの内容を学ぶことができるので、より参加しやすい環境にもなっているのではないのでしょうか。

毎回取り上げるテーマもさまざまです。もともと自分が学んできた内容、疾患に特化したテーマでやっていこうと思っていました。しかし、参加される方の声を聞いていると、基本の知識・技術、特にフィジカルアセスメントについて学びたいという要望が多く、急性期だけでなく介護施設も含めたさまざまな場面で活用できるような幅広い内容を取り上げていくことになりました。今後もマネジメントやテクノロジー、経済的な話まで、ジャンルの枠に捉われない活動を行っていく予定です。

自分の得意分野以外も取り上げることによって改めて学びなおすことも多く、自分自身の知識や技術の幅が広がったと感じています。アウトプットする場があると緊張感もあつてより真剣に学びますし、質問を受けることで新たな気づきも得られます。

コロナ禍でオンラインセミナーは非常に増えていますが、セミナーを受講してインプットするだけでなく、ぜひ自分自身でアウトプットできる場をつくっていただきたいと思います。Zoomでの勉強会であれば開催のハードルが低く、アウトプットを行うための環境が作りやすいということもメリットの1つです。ぜひ多くの栄養経営士の方に全国で勉強会を立ち上げていただき、積極的に学んでいただきたいと思います。

Nutrition Laboratory
YouTubeチャンネルの登録はこちら▶



NLabのYouTubeチャンネルを登録することで最新情報を入手できる

★11月29日(日)研究会開催 参加者募集中!【九州支部】

通信機器を使った、新たな栄養食事指導の形式を考える

遠隔による栄養食事指導 ～SNSを活用した栄養指導の取り組み～

日本栄養経営実践協会九州支部では、11月29日(日)に、『遠隔による栄養食事指導 ～SNSを活用した栄養指導の取り組み～』を開催します。2020年度診療報酬改定により、外来栄養食事指導料の「2回目以降の情報通信機器を用いた栄養指導」が算定の対象となりました。また、新型コロナウイルスの流行によりオンラインでの栄養指導が注目され、需要が高まっています。

今回は第一部に「遠隔栄養指導の概要と実際」として山下茂子当協会理事にご登壇いただき、診療報酬改定等、遠隔栄養指導の基本的な概要等について学びます。

第二部では「クリニック等でのSNSを用いた栄養指導の取り組み」として、「全国栄養経営士のつどい」名古屋大会で発表した中村達也氏(栄養経営士・医療法人大和クリニック)にお話しいただきます。中村さんが勤務する整形外科クリニックでのLINEを用いたメタボリックシンドロームの患者の栄養指導の1例を基に、指導のポイントなど、具体的にどのように展開していくかについて考えていきます。また、個人事業主としてさまざまな活動をされている中村さんに、管理栄養士の資格を活かした取り組みについて紹介していただきます。ぜひ参考にしてください。

■プログラム

【第一部】

・情報通信機器を活用した外来栄養食事指導の概要と実際

【第二部】

・SNSを活用した栄養指導の取り組み
・個人事業主としての管理栄養士の活動

概要

【日 時】11月29日(日) 13:00～16:00

【場 所】株式会社日本医療企画九州支社
セミナールーム 第三博多偕成ビル5階503
(福岡市博多区博多駅南1-3-6)
☆博多駅筑紫口から徒歩6分
☆Zoomを使用したWEB受講あり

【定 員】会場:20人 WEB:50人 ※ともに先着順

【受講料】会員:2,000円(税込)
(栄養経営士もしくは基礎講習受講者)
一般:3,000円(税込)

【講 師】山下茂子氏(日本栄養実践協会理事、熊本県立大学非常勤講師、前水俣市立総合医療センター栄養科長)
中村達也氏(栄養経営士、医療法人大和クリニック 管理栄養士 Nine state of shine 代表)

【申し込み】協会サイトの「研究会・支部研究会」より当研究会の要旨をダウンロードのうえ、FAXにてお申し込みください。

FAX:092-418-2821

【問合せ】日本医療企画九州支社(担当:中野)

TEL:092-418-2828

Email:m-nakano@jmp.co.jp

ICTを使用して
業務の改革・改善を!

山下茂子 日本栄養経営実践協会理事

COVID-19流行中、どのような栄養指導を実践されておりますでしょうか? Zoom等の遠隔通信ツールを駆使しての講演会等が普通になるなか、私たちの業務も変わらざるを得ません。メリット・デメリットを理解したうえで、業務の改革・改善を図りましょう。11月29日の研究会で、ディスカッションできたらと思います。ご参加をお待ちしております。

時代のニーズを考慮し
アウトカムを出そう!

中村達也さん

今回、SNSを用いた部分での栄養指導に関してお話しさせていただきます。栄養経営士としてアウトカムを出していくためには、時代のニーズ等を考慮し、自分自身ができることをまず実践してみることが必要ではないでしょうか。テクニック云々の前に、なぜそれをすべきなのか? なぜできたのか? 等々、最初のスタート段階についても考えていただくきっかけになればと思います。

新刊
推薦
図書

食事摂取基準(2020年版)に対応した代表的な7疾患の指導事例を掲載!

『栄養管理プロセスを活用した 栄養指導事例集』

さまざまな患者・疾患を取り上げ、栄養管理(ケア)プロセスの流れを基本に、新たな食事摂取基準に対応した栄養指導事例(24事例)を紹介。栄養現場で活用できるヒントを多数提示した、管理栄養士の栄養指導力向上に必見の1冊!

目次

- 第1章 栄養管理プロセスの意義
中村丁次(神奈川県立保健福祉大学学長)
- 第2章 栄養管理プロセスを活用した栄養指導
木戸康博(甲南女子大学医療栄養学部教授)
- 第3章 「日本人の食事摂取基準」(2020年版)による
栄養指導の考え方
上西一弘(女子栄養大学栄養生理学研究室教授)
- 第4章 栄養指導事例

巻末資料として
「栄養コード一覧」
も添付!

協会推薦図書
として会員価格
で購入できます



代表的な7疾患の24事例を掲載!

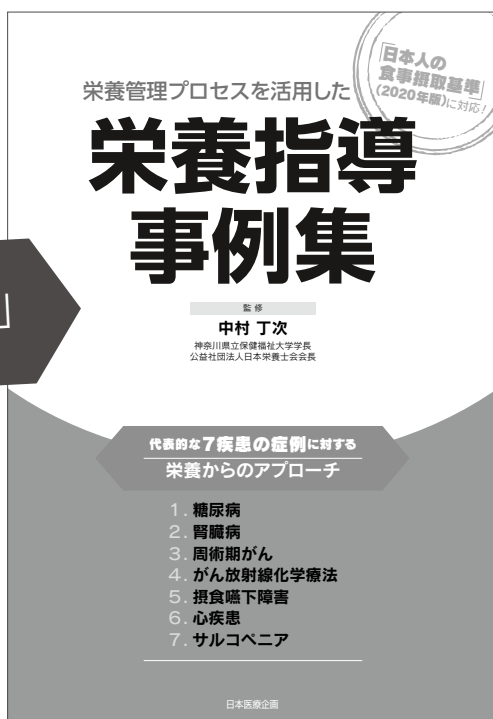
- ①糖尿病(4事例)
原純也、鈴木克麻(日本赤十字社武蔵野赤十字病院)
- ②腎臓病(3事例)
西井大輔(玄々堂君津病院)
- ③周術期がん(3事例)
古田雅(東邦大学医療センター大森病院)

- ④がん放射線化学療法(4事例)
福元聡史(トヨタ記念病院)

- ⑤摂食嚥下障害(4事例)
上島順子(NTT東日本関東病院)

- ⑥心疾患(3事例)
島田晶子(名古屋ハートセンター)

- ⑦サルコペニア(3事例)
西岡心大、西岡絵美、森菜美、山内杏奈(長崎リハビリテーション病院)



監修・著者:中村丁次(神奈川県立保健福祉大学学長、日本栄養士会会長)

仕様:B5判 168ページ

定価:2,500円+税 会員価格:2,000円+税

発売:2020年11月中旬予定

ISBN:978-4-86439-978-4

発行:株式会社日本医療企画

栄養経営士が知っておきたい！ イベント 情報掲示板

栄養経営士に求められるのは、さまざまな情報へのアンテナを張り、自身の知識・スキルを常にアップデートしておくこと。そのための貴重な機会である、全国で開催されるイベント情報を、支部の研究会を中心に掲載します。

※新型コロナウイルス感染症対策で、イベントが中止になる場合があります。必ず最新情報を確認してください。

東北支部(設立準備室)

「石井ゼミ in 東北 2020」全3回 第3回「事業計画の進め方と人材育成」

参加者に大好評の石井ゼミシリーズ、第3回のテーマは「事業計画の進め方と人材育成」です。事業計画の進捗管理と現状を把握し、目標を達成するには人材育成が欠かせません。効果的でわかりやすい情報共有、自ら行動できる人材の育成について学びます。

○日 程：2020年11月21日(土)14:00～17:00
(全3回のうちの第3回)

○講 演：石井富美氏(多摩大学医療・介護ソリューション研究所 副所長)

○参加費(税込)：【会員】4,000円 【一般】6,000円

○会 場：仙都会館(仙台市青葉区中央2-2-10)

○定 員：40名(先着順)

○お問い合わせ：株式会社日本医療企画 東北支社(担当:三浦・浅石)
TEL:022-281-8536

オンラインセミナー情報

嚥下調整食にプラスアルファの一手！ 中鎖脂肪酸を活用して、物性とエネルギーを両立させよう 『ヘルスケア・レストラン』特別ウェビナー

中鎖脂肪酸は即効性のエネルギー源として、高齢者の栄養改善やリハビリに有効ですが、具体的な使用法がわからない場合も。セミナーでは加水で栄養価が下がりやすい「嚥下調整食」に焦点を当てた中鎖脂肪酸の活用方法が学べます。

○日 程：2020年 11月 23日(月・祝)13:00～16:00

○講 演：前田圭介氏(国立長寿医療研究センター 老年内科)

栢下淳子氏(広島修道大学 教授)

高山仁子氏(熊本機能病院栄養部 課長)

○参加費：無料

○定 員：500名(先着順) ※Zoomを使用します

○共 催：日清オイリオグループ株式会社

○お問い合わせ：株式会社日本医療企画 セミナー事務局(担当:金久保)

TEL:03-3553-2885

オンラインセミナー情報

「コロナ時代」の経口維持と栄養管理 『ヘルスケア・レストラン』特別WEB セミナー 第2弾

コロナ禍の長期化により、病院や高齢者施設の栄養部門では栄養指導件数の減少や経口維持加算の算定困難といった状況に陥っています。こうした現状を打開するための新たな栄養管理のあり方について考えるセミナーです。

○日 程：2020年11月29日(日) 10:00～12:00

○講 演：中根綾子氏(東京医科歯科大学 助教・歯科医師)

大久保陽子氏(特別養護老人ホームマイライフ徳丸 主任管理栄養士、栄養経営士)

○参加費：無料

○定 員：500名(先着順) ※Zoomを使用します

○お問い合わせ：株式会社日本医療企画 セミナー事務局(担当:金久保)

TEL:03-3553-2885

協会事務局より

2020年12月期限の会員の皆様へ 【年度会費納入および資格更新のご案内】

本年12月に年度会費・会員資格の有効期限を迎える会員の皆さまに、当協会より、年度会費納入および資格更新のご案内を9月中旬に郵送しております。ご確認およびお手続きのほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

○年度会費：有効期限が2019年12月20日～2020年12月19日の方

【個人正会員】10,000円

【栄養経営サポーター】8,000円

○資格更新：会員資格が2017年12月20日～2020年12月19日の方

【個人正会員】15,000円(年度会費込み)

※申請書類・課題をご提出ください。

【栄養経営サポーター】13,000円(年度会費込み)

○支払期限：年度会費・資格更新ともに11月19日(木)までに指定口座へ振り込みください。

○お問い合わせ：一般社団法人日本栄養経営実践協会

TEL:03-3553-2903

患者の体内で起こっていることを知り、チーム医療で貢献できる管理栄養士になろう！

栄養経営特別セミナー 症例検討 【公開講座】WEBセミナー

「チーム医療に参画する為に知っておきたい知識」



講義内容

- 1) Evidenceで見る(診る)栄養サポートの重要性(26:35)
- 2) 症例1 78歳女性の場合(36:33)
- 3) 症例2 81歳女性の場合(36:40)

講 師 宮澤靖(一般社団法人日本栄養経営実践協会 代表理事、東京医科大学病院 栄養管理科 科長)

視聴方法 パソコン、タブレット、スマートフォン
※OSとブラウザのバージョンは紹介ページでご確認ください

視聴期間 14日間

申込および詳細 <http://hcmi-s.net/weblesson-hcm/e01/>

講義時間 約100分(全3動画)

受講料 4,400円(税込)

申込・お問い合わせ先

日本ヘルスケア
経営学院事務局
(株式会社日本医療企画内)
TEL:03-3553-2862
E-mail: jissenkenkyu@jmp.co.jp



宮澤靖

日本栄養経営実践協会
代表理事

栄養経営士には「経営」と「臨床」の大きな二本の柱があります。今まで協会ではマネジメントに軸足を置いた活動が多かったのですが、これからは臨床にも力を入れていきたいと考えております。この動画内では2つの症例を紹介していますが、私が話していることだけが答えではありません。「答えはベッドサイドにある」ということを忘れずに、参考例として活用してください。この動画を会員の皆様に広くご覧いただき、臨床能力を高めるお手伝いができればと思っております。そして、栄養経営士として「経営」と「臨床」の両軸に足を置き、アクティブに施設内で活躍されることを期待しています。

